

高速道路ネットワークの整備

貢献する
SDGsの目標



首都高ネットワークの充実を目指して

首都高のネットワーク整備は、2014年度に中央環状線が全線開通した後、2016年度には神奈川7号横浜北線、2017年度には10号晴海線(晴海～豊洲)、2019年度には神奈川7号横浜北西線が開通し、さらなるネットワークの拡充が図られました。今後も首都高ネットワークのさらなる整備を進めていきます。

新大宮上尾道路(与野～上尾南)

国土交通省関東地方整備局との共同事業として、一般国道17号(新大宮上尾道路(与野～上尾南))事業に着手しました。新大宮上尾道路は埼玉県を中心部を南北に縦断する路線で、さいたま市中央区円阿弥から鴻巣市箕田間の延長約25.1kmの自動車専用道路です。そのうち、さいたま市中央区円阿弥から上尾市堤崎までの延長約8.0kmを事業区間とし現在事業を進めています。既存の首都高ネットワークと一体となり、東京都心と埼玉県中央地域の交通アクセス向上を図るとともに、一般国道17号新大宮バイパスにおける交通事故の防止や渋滞の緩和等へ貢献していきます。



宮前付近(2019年3月8日撮影)



与野JCT(仮称)付近(2019年3月8日撮影)

社会の ために

社会、とりわけ地域の皆さまとともに、
地域社会の発展を目指します。

CONTENTS

高速道路ネットワークの整備	31
災害対応力の強化	33
社会に根差した技術革新	36
国内外への技術力の展開	38
地域社会との連携	40
社会に貢献できる企業を目指して	41

首都高ネットワーク



新大宮上尾道路(与野~上尾南)

路線一覧

- ① 高速都心環状線
- ② 高速中央環状線
- ① 高速1号上野線
- ① 高速1号羽田線
- ② 高速2号目黒線
- ③ 高速3号渋谷線
- ④ 高速4号新宿線
- ⑤ 高速5号池袋線
- ⑥ 高速6号向島線
- ⑦ 高速7号小松川線
- ⑨ 高速9号深川線
- ⑩ 高速10号晴海線
- ⑪ 高速11号台場線
- Y 高速八重洲線
- B 高速湾岸線
- K1 高速神奈川1号横羽線
- K2 高速神奈川2号三ツ沢線
- K3 高速神奈川3号狩場線
- K5 高速神奈川5号大黒線
- K6 高速神奈川6号川崎線
- K7 高速神奈川7号横浜北線
- K7 高速神奈川7号横浜北西線
- S1 高速川口線
- S2 高速埼玉新都心線
- S5 高速埼玉大宮線

PA一覧

- 高速1号羽田線
平和島PA(上り)
平和島PA(下り)
- 高速3号渋谷線
用賀PA
- 高速4号新宿線
永福PA
代々木PA
- 高速5号池袋線
志村PA
南池袋PA
- 高速6号向島線
箱崎PA
駒形PA
- 高速6号三郷線
加平PA
八潮PA
- 高速9号深川線
辰巳第一PA
辰巳第二PA
- 高速11号台場線
芝浦PA
- 高速湾岸線
市川PA
大井PA(東行き)
大井PA(西行き)
大黒PA
- 高速神奈川1号横羽線
大師PA
- 高速川口線
川口PA(川口ハイウェイオアシス)

凡例

- 首都高
- その他の高速道路等
- (未開通区間)
- 〈表記上の略称〉
JCT: ジャクション
PA: パーキングエリア

(2023年3月現在)

特集

お客さまのために

社会のために

環境のために

株主 投資家の皆さまのために

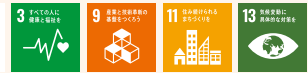
取引先の皆さまのために

社員のために



災害対応力の強化

貢献するSDGsの目標



災害時の安全確保に向けて

首都圏のくらしや社会経済活動を支える重要な役割を担っている首都高。お客さまの安全の確保、道路交通機能の維持のため、災害対策を強化し、大雪・大雨などの異常気象や地震の発生に備えています。

迅速な対応を実現する地震防災対策

地震等の災害発生時にお客さまの安全を確保するとともに、道路交通機能を維持し緊急交通路^{※1}・緊急輸送道路としての社会的役割を果たすために「防災業務計画」を定め、国や関係機関等と緊密な連携を保ちつつ、地震その他の災害に対する措置を講じています。

また、災害発生時の相互協力を定めた連携協定を陸上自衛隊東部

方面隊(2016年9月)、東京ガス株式会社(2019年10月)、KDDI株式会社(2020年3月)、東京電力ホールディングス株式会社(2020年10月)及び東日本電信電話株式会社(2022年6月)とそれぞれ締結し、災害への備えをより強化しました。

※1 大規模な災害発生時に、災害対応を実施する消防・救急・警察・自衛隊などの緊急車両や道路点検車、災害応急対応車両の通行を優先し、一般車両の通行を禁止する道路

緊急交通路の確保

地震発生時に橋梁の損傷を軽微なものに留め、早期の緊急交通路の確保を可能にするため、支承(橋桁を支える台座)や落橋防止構造の一層の強化を進めています。

大規模地震が発生した際は、「首都直下地震道路啓開計画(八方向作戦)」^{※2}に基づき、関係機関と連携して緊急交通路を確保し、消

防車、救急車、自衛隊等の緊急車両の通行を可能とする必要があります。迅速に緊急交通路を確保するために段差修正材等の応急資機材の配備を進めるとともに、首都高グループが一体となって訓練を行っています。

※2 首都直下地震道路啓開計画検討協議会(国土交通省、東京都、当社等が参加している)が定めた計画



地震時の緊急交通路確保(訓練の様子)

速やかな情報収集・共有

災害発生時に速やかに情報を収集し、高度な情報共有や復旧計画の策定支援を行う「総合防災情報システム」の運用を2018年より開始しました。これにより、迅速な緊急交通路の確保につながっていきます。

総合防災情報システムの主な機能



大雨対策の強化

大雨時でもお客さまが安全・安心に首都高をご利用できるよう対策を強化しています。

降雨時には、文字情報板によりお客さまへの注意喚起を行っています。気象予測情報から大雨が予測される場合には、排水桝の事前清掃など滞水等の事前準備を行います。また、排水施設、舗装の改良等による対策を行っており、滞水による交通障害の防止に努めています。



文字情報板での注意喚起イメージ



排水桝の事前清掃

積雪・凍結対策の取り組み

当社では、2018年1月22日からの積雪・凍結により発生した「長時間の車両滞留」及び「通行止めの長期化」の再発防止を基本方針としています。

また、2020年度に北陸地方で発生した大規模車両滞留を踏まえ、国の「冬期道路交通確保対策検討委員会」による『大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ(令和3年3月改定)』においては、従

来の「出来るだけ通行止めにならない」や「道路ネットワーク機能への影響の最小化」から、「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避する」ことへ基本的な考え方を転換することとされました。

これらを踏まえ、当社は、ソフト・ハードの両面から様々な取り組みを実施していきます。

「車両滞留」の防止

■ 予防的通行止めの実施

首都高では大雪が予想される場合、車両滞留を予防するため、路面状況が悪化することを想定して、あらかじめ早い段階で行う予防的通行止めを実施することがあります。

その際は、降雪前から出控え広報を含め適切な情報提供を行い、現場状況を正確に把握できる体制や、車両滞留が発生した場合のお客さま支援体制を強化します。

冬期は冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いするとともに、雪道走行時のチェーン装着の徹底を呼びかけてまいります。

■ 車両立ち往生発生リスク箇所への対応

路面への積雪・凍結に伴うお客さまの車両の立ち往生を防ぐため、過去の事例や勾配などのデータから選定した車両立ち往生のリスク箇所を中心にカメラの増設等を行い、監視体制を強化しています。

また、車両立ち往生が発生した場合は、事前に付近に配備したレッカー車により迅速に車両移動を行います。



(参考) 2022年度の取り組みポスター



社会のために

「通行止めの長期化」の防止

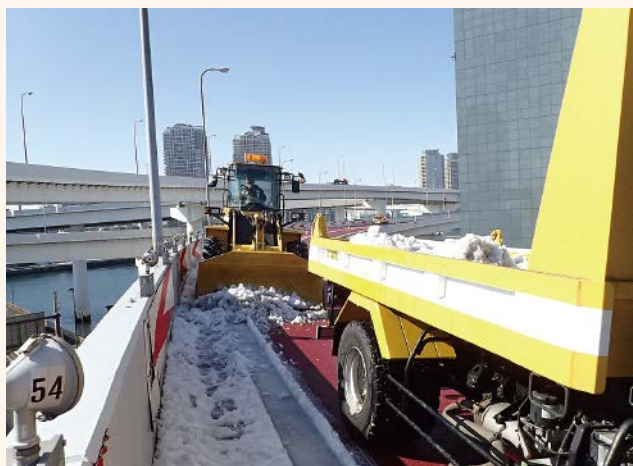
■ 首都高の構造的特性に応じた積雪・凍結対策の強化

首都高は高架構造の割合が高く、冬期は構造物が上下から冷やされ、降雨・降雪時に路面凍結が起こりやすいという構造上の特性があります。

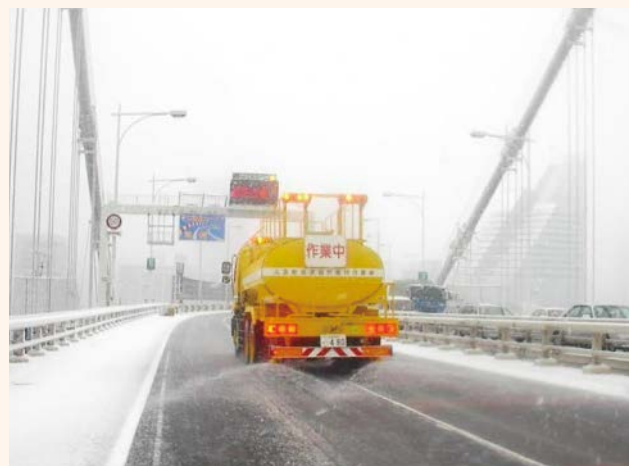
加えて首都高は路肩が狭く、積雪時には雪を路肩に寄せるスペースがないことから、除雪車両で積もった雪を集める「除雪」と、集めた

雪をダンプカーに積んで道路外に運び出す「排雪」の2段階の作業が必要です。

そのため、降雨・降雪時の路面状況の悪化に備えた凍結防止剤散布、積雪時の除排雪作業体制の強化により、通行止め時間の短縮を図ります。



除排雪作業状況



凍結防止剤散布状況

確実な情報提供

■ お客さまへの適切な情報提供

気象情報等に基づく予防的な通行止め情報の提供、不要不急の外出を控えていただくための事前広報を実施します。また、通行止めとなった際は、解除予定情報を提供します。事前広報、交通規制等の情報は当社Webサイト、mew-ti、SNS (Twitter等)、文字情報板や日本道路交通情報センターの放送によりお知らせしています。

また、トンネル内のお客さまに対しては、ラジオ再放送、拡声放送設備を活用し、情報提供を行います。

関係機関との連携強化

■ 警察や関係機関との連携

通行止めや通行再開時の連携について、警察、国土交通省、他の高速道路会社との事前調整を行います。

ツイッターアカウント:【公式】道路交通情報@首都高



保安・交通部 防災・交通管理室 防災対策課
係員 山際 莉美

防災対策課では、お客さまの安全確保をより確実にするため、あらゆる災害に備え、日々様々な想像力を働かせてシミュレーションや訓練を繰り返して行っています。

私自身、防災対策課に配属されるまでは「防災対策」というものに難しいイメージを抱いていて、一部のプロフェッショナルが行う業務だと考えていました。しかし実際には、首都高グループ全員が力を合わせなければ、災害時の安心・安全をお客さまに提供することはできないということを日々実感しています。

社員一人ひとりが防災対策に対する高い意識を持ち続けることで、首都高グループ一丸となって災害に備え、お客さまの安心・安全を守り続けてまいります。

VOICE

社会に根差した技術革新



都市高速道路の技術開発の推進

都市内に位置する首都高は、施工スペースに制約がある一方で、円滑な道路ネットワークの確保、高齢化が進行する構造物の補修や耐震に向けた対応も求められています。さらに、騒音・振動といった沿道への影響の軽減、新材料や省エネルギー・再生可能エネルギーの活用による環境負荷の軽減にも取り組む必要があります。これら

の状況に対応可能な、優れた維持管理・更新技術を開発することを目指し、グループ会社、(一財)首都高速道路技術センター、政府、大学、他企業と幅広く連携を図りながら、社会に根差した新たな技術や工法の研究開発を進めています。開発した技術が広くインフラ事業に活用されることで、社会の健全な発展に貢献できるよう努めています。

お客さまや周辺へ配慮した技術開発を目指して

新たな技術の採用により、環境負荷の軽減、新たな耐震性向上手法の採用、新規開通や交通規制低減による利便性向上を実現しています。

環境にやさしい水性塗料を使用した鋼橋の塗替え技術

令和2年度 土木学会賞 田中賞 作品部門 受賞

鋼橋の塗替え塗装に用いられる塗料には、引火しやすく大気汚染の原因となる揮発性有機化合物(VOC)が含まれています。そこで、VOCを従来塗料の約1/5に削減した水性塗料を標準塗料として採用しました。大気中へのVOCの排出量を削減し、火災リスクも大幅に低減しています。鉄面へ水性塗料を塗布することは、錆の発生や塗りにくいといった課題がありましたが、独自の規格・仕様を定めることで解決しています。



水性塗料を用いた塗替え

制震デバイスによる高架橋の耐震性向上技術

特許第6344836号、特許第6476055号、特許第6476054号
第23回 国土技術開発賞 入賞

高架橋の耐震性向上に用いるダンパー等の制震デバイスを開発し、補強が必要な橋梁に順次設置しています。首都高は、地震時に緊急交通路として確実な機能を果たし、地震後の復旧においても、首都圏の物流を担う、という重要な役割が求められています。そのため、地震による構造物の損傷を制御する各種制震デバイスとその設計方法を、民間企業との共同研究により開発しています。



ダイス・ロッド式摩擦ダンパー

高速施工と高耐久化を実現した都市高速道路の更新技術

～東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業～

令和3年度 土木学会賞 インフラメンテナンスプロジェクト賞 受賞
日建連 第2回土木賞 受賞
令和3年度 全建賞 受賞

都市高速道路の構造物の更新では、制約の多い施工条件下での施工性向上や通行止めによる社会的影響の低減を図る必要があります。本事業では、迂回路を設置し長期の通行止めを回避しながら、高架部にはプレキャスト製の床版や高欄を、土工部にはプレキャストボックスカルバートを採用することで、高速施工と高耐久化を実現しています。また、更新後の橋梁は海面からの距離を確保するとともに恒久足場を設置することにより、長期耐久性に加え維持管理性や景観性も向上します。

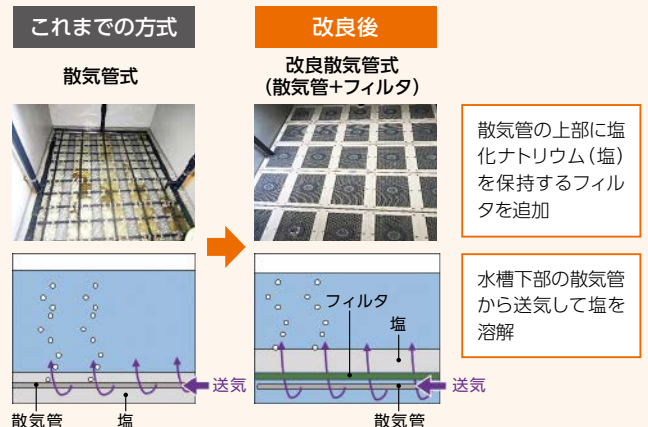


東品川栈橋部の現場状況

路面凍結防止用塩水の製造能力向上技術

冬季降雪時には、路面凍結を防止するため、塩水散布車により路面に塩水を散布します。散布する塩水は、塩化ナトリウムと水を混合して濃度20%となるように塩水製造施設で製造しています。

降雪が長期化すると大量の塩水が必要となることから、塩水製造施設の下部に設置している散気管の上部に、塩化ナトリウムを保持するためのフィルタを追加することにより、溶解速度を向上させ、塩水製造能力の向上を実現しました。



特集

お客さまのために

社会のために

環境のために

株主・投資家の皆さまのために

取引先の皆さまのために

社員ののために



社会のために

スマートインフラマネジメントシステムを軸としたDXの推進

首都高グループでは、インフラの高齢化や生産年齢人口の減少に伴う技術者不足に備え、効率的な維持管理を支援・実現するスマートインフラマネジメントシステム *i-DREAMs*[®] を運用しています。

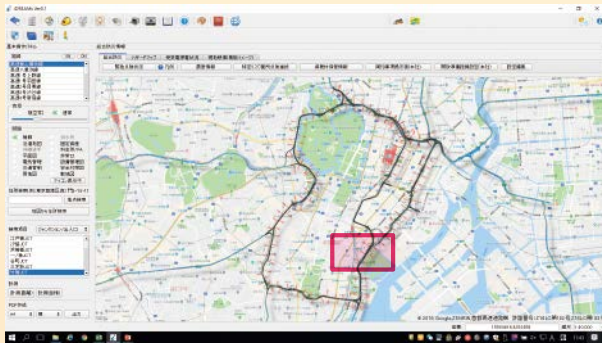
i-DREAMs[®] は維持管理に必要な情報を、GISプラットフォームに統合するとともに、3次元点群データの取得とその活用や、ICT (情

報通信技術)やAI(人工知能)の活用により、維持管理の生産性を大幅に向上するシステムです。デジタル変革時代に即した効率化・高度化を目指し、本システムを継続的に改良するとともに、新たな技術開発にも取り組み、業務プロセスそのものから改革できるようにDXを推進してまいります。

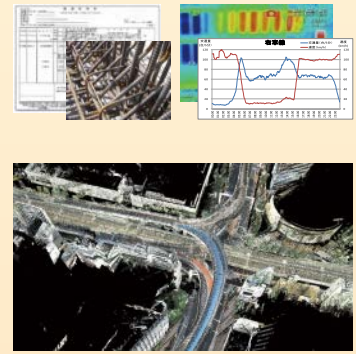
i-DREAMs[®] スマートインフラマネジメントシステム

現在

GISプラットフォームにおける各種管理データの統合管理



- 地図情報
- BIM/CIMモデル
- 点検・補修履歴
- 構造物諸元
- 周辺画像データ
- 図面データ
- 交通データ
- 環境データ
- 3次元点群データ 他



将来

首都高速道路のデジタルツイン構想 (イメージ)

デジタル化した首都高速道路ネットワークをサイバー空間(仮想空間)に構築し、フィジカル空間(現実空間)から膨大なデータをリアルタイムに収集し、蓄積します。このようなサイバー空間上で、AI等を用いた効率的なデータ分析やシミュレーションを行い、調査か

ら設計、施工、維持管理、交通運用及び危機管理に至る様々なフェーズにフィードバックすることで、未来型の管理へ変革していきます。加えて、MaaS (Mobility as a Service) と連携したお客さまサービスの向上など、新たな価値の創出にもつなげていきます。

データプラットフォーム(データ蓄積)

サイバー(仮想)空間



リアルタイムに 情報収集

モニタリングセンサーやドローン、衛星、点検モバイル機などを駆使して、構造物や交通に関わるデータを効率的に取得

現場業務を支援

AIやリモートによる劣化・損傷自動検知や補修・補強診断、交通や被災状況のリアルタイム把握などでエンジニアの活動を支援

フィジカル(現実)空間



データ収集 (IoT)

フィードバック

DXによる価値創出

予測保全

AIによる構造物劣化予測

例：当該構造物の損傷は、環境条件から5年後に大きく進展が予測されます。

AIによる適切な補修方法の提案

例：本損傷は1年後、〇〇工法による補修が望ましいです。

リモート検知

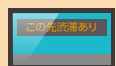
遠隔からの構造物異常検知

例：先ほどの地震に伴い、〇〇付近で構造物に大きな損傷が発生している可能性あり。

高度な交通マネジメント

交通運用と連動した
情報提供 (MaaSとの連携)

例：〇〇付近周辺の渋滞が見込まれるので他の交通手段も含めた最適ルートを提供します。



国内外への技術力の展開

貢献する
SDGsの目標



特集

お客さまのために

社会のために

環境のために

株主・投資家の皆さまのために

取引先の皆さまのために

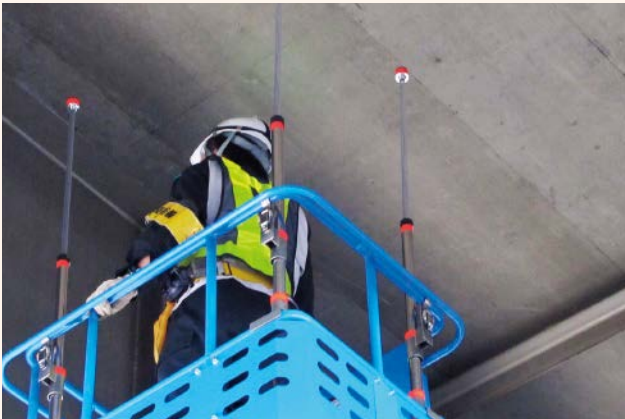
社員のために

国内における取り組み

国内技術コンサルティング事業

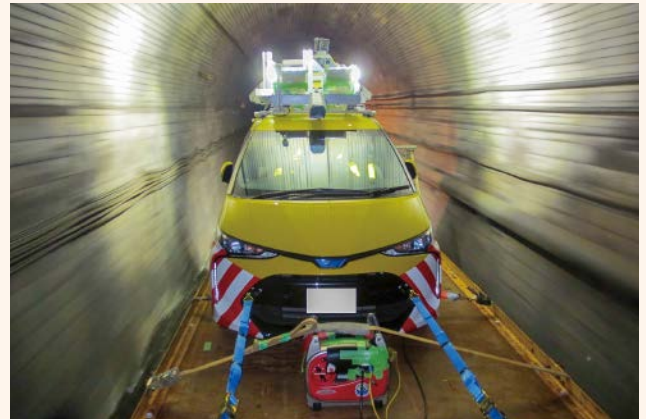
■ 土木分野におけるコンサルティング

当社ではこれまで半世紀以上にわたり、首都高の計画・建設・維持管理・交通運用を担ってきました。道路構造物の点検が義務化され道路メンテナンスへのニーズが高まっている中、当社において培われた専門技術力を活かし技術コンサルティング事業を行っています。



橋梁における床版・桁の点検作業

また、国・地方公共団体が管理する道路の点検・診断、補修設計・耐震補強設計等の業務を実施するとともに、首都高グループが開発した道路構造物の維持管理システム(インフラドクター®)を、道路分野のほか、鉄道、空港分野へ展開しています。

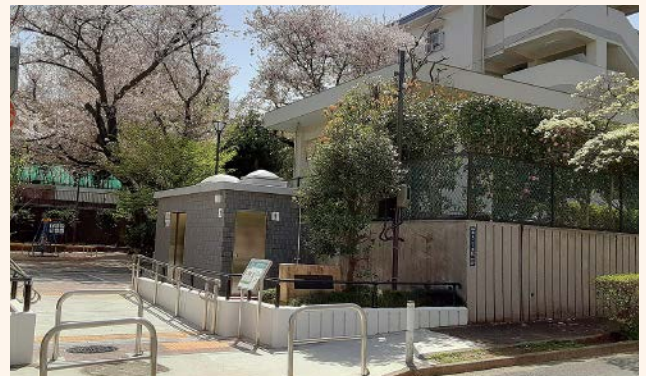


3次元点群データ計測車両(伊豆急行線トンネル内)

■ 建築分野におけるコンサルティング

当社はこれまでに道路事業で500棟を超える管理用建物の設計や工事を手掛けてきました。これらの実績をもとに、2007年に一級建築士事務所を設立し、公共及び民間の建築設計業務を中心に、技術力を活かして設計から工事・工事監理までを首都高グループで一貫した建築コンサルティングを行っています。

近年は、国・地方公共団体が促進する緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断・耐震補強や公共建築などの設計業務を行っており、安全・安心なまちづくりに貢献しています。



当社事務所で設計した板橋区公衆トイレ

維持管理技術の紹介を通じた地域貢献

首都高グループの技術を広く道路インフラ等の維持管理に活用いただくため、国・地方公共団体等の職員を対象に「橋梁の維持管理技術に関する勉強会」を開催しています。2022年度は12月に開催し、13団体23名の方にご参加いただきました。勉強会では、首都高グループの補修や点検に関する技術内容や活用方法について議論する場を提供しました。

こうした維持管理技術を広く伝える取り組みを通じて、道路インフラ全般の適切な維持管理に貢献しています。



橋梁の維持管理勉強会(横浜ベイブリッジ)



社会のために

海外における取り組み

海外技術コンサルティング事業

2010年に国際協力機構(JICA)から受注した業務を皮切りに、海外に向けた技術コンサルティング事業を開始し、新興国を中心に維持管理・交通管制・ITS等の業務を推進しています。2011年にはタイ国のバンコクに海外駐在員事務所を開設し、タイ国やその周辺国を中心にさらなる海外展開を図っています。



現地事務所視察[タイ国・運輸省道路局(DOH)]

また、タイ国のドンムアン有料道路(株)からITS業務、フィリピン国の公共事業道路省(DPWH)から交通管理やトンネル防災業務を受注するなど、海外企業や政府関係機関からの直接受注を含め、海外への技術展開を進めていきます。



ラグナ湖岸道路ミッションミーティング[フィリピン国・DPWH]

国際貢献

JICA等が実施する研修の受け入れを積極的に行っており、世界各国の研修生を当社施設や工事現場等へ招いています(2022年度の来訪受け入れ:10か国・257名)。また、カンボジア国、タイ国、インドネシア国、ミャンマー国、マレーシア国、フランス国、フィリピン国、計7か国の12道路機関等と「技術協力に関する覚書」を締結して

おり、道路分野における積極的な技術協力を推進しています。また、新興国の政府機関等へ技術者を長期派遣し、技術指導や技術者育成にも協力しており、これまで計10か国36名(2023年3月時点)の専門家を派遣してきました。今後も技術指導や技術協力を通じた国際社会への貢献を進めていきます。



大師橋現場視察[タイ国・高速道路公社(EXAT)]



現地会議後の記念撮影[インドネシア国・MMS] ※MMS:PT Marga Mandalasakti

TOPICS

タイ国高速道路公社(EXAT)本邦研修の実施

2023年2月15日から17日まで、タイ国高速道路公社(EXAT)の本邦研修を実施しました。

メンテナンス部門の技術者4名が副総裁以下幹部8名とともに来日し、橋梁・トンネルの維持管理についての研修を受講いただきました。

研修では首都高のメンテナンス技術に関する講義や高速大師橋更新事業現場の視察等を行いました。タイ国においても構造物の老朽化は進行しており、メンテナンスの重要性が認知されつつあります。

このような状況の中、首都高の強みであるメンテナンス技術を活かした国際貢献活動を通して、タイ国での新たなビジネスチャンス構築に向けた積極的な活動を引き続き行ってまいります。



EXAT副総裁以下による社長表敬



高速大師橋更新事業現場の視察

地域社会との連携



特集

お客さまのために

社会のために

環境のために

株主・投資家の皆さまのために

取引先の皆さまのために

社員のために

自治体との相互協力

各自治体と当社が持つそれぞれの資源の有効活用を目的に、4つの都県市と包括的連携協定を結んでいきます。防災・災害対策の面で相互に協力することによる高速道路における安全・安心の確保や環境保全推進の取り組みなど幅広い分野での連携を強化しています。また、イベント・広報活動なども協力して行うことによって、観光振興への貢献などを図るとともに、PAにおける地域情報の発信、地域製品のPRなども行っています。

包括的連携協定の締結実績

2011年 2月	東京都
2012年10月	千葉県
2016年12月	神奈川県
2020年 3月	横浜市

地域活性化を目指して

地域との連携を強化し、積極的な情報発信を進めることで地域間の交流や連携を促進し、それぞれの多様性を活かした魅力ある地域づくりを目指します。地域の皆さまとともに取り組むことで、地域が抱える課題の解決や地域活性化に貢献していきます。

地域協働イベント

■ 地域の魅力を伝え、観光を促進するPAイベント

地方公共団体と協働して、PAにおいて物産品や農産物の販売、地域の観光パンフレットの配布など、地域の魅力を伝え、観光を促進するイベントを実施してきました。今後もPAを活用し、地域とのより一層の連携を深めていきます。



地域の魅力を伝え、観光を促進するPAイベント

■ 国立公園を有する地域の魅力を伝えるPAイベント

環境省と2016年度に締結した「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を踏まえ、地方公共団体と協働して、国立公園の紹介と地域の魅力を発信するイベントを川口PA及び大黒PAで実施してきました。今後もパートナーシッププログラムの取り組みとして、地方公共団体と協働し、PAにてイベントを開催していきます。



国立公園の紹介と地域の魅力を発信するイベント

■ 地域の魅力を伝えるオンラインイベント

千葉県、横浜市及び三浦市と連携し、観光PR動画の放映、オススメ観光地、物産品等の紹介により地域の魅力を発信するオンラインイベントを実施しました。



バーチャルPA

■ 地域を盛り上げる現地でのイベント

レインボーブリッジを期間限定のスペシャルライトアップで彩り、レインボーブリッジが結ぶお台場地区を盛り上げることで、地域活性化に向けた取り組みを行ってきました。

今後も沿道地域の皆さまと協働して、地域の魅力をPRする取り組みを行っていきます。



レインボーブリッジ スペシャルライトアップ



社会のために

社会に貢献できる企業を目指して



社会活動への協力

アウェアネスカラー運動への賛同

レインボーブリッジ等のライトアップ色の変更によりアウェアネスカラー運動*に賛同しています。

2022年度は新たに、大腸がんの検診受診の促進を目的とした啓発活動の趣旨に賛同するライトアップなどを実施しました。

また、以前より実施している、乳がんの早期発見、適切な治療の大切さを伝える「ピンクリボンフェスティバル」、臓器移植医療の定着・推進を目的とした「グリーンリボン運動」、「自殺予防週間」の趣旨に賛同するライトアップも実施しました。

*社会運動のシンボルカラーのリボンを装着したり、建造物をシンボルカラーにライトアップしたりすることでその運動への支援・賛同を示す取り組み



大腸がん啓発
ライトアップ(ブルー)

乳がん啓発ライトアップ(ピンク)

社会課題への取り組み

次世代育成の支援

未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、見学・地域イベント・自然体験などを通じた様々な次世代育成活動に取り組んでいます。少子化が進み次世代育成の重要性が高まる中、活動を強化し、子どもたちの豊かな成長を支援しています。

■ 首都高講座 子ども未来プロジェクト

小学生を対象に首都高を身近に感じる体験を提供する社会貢献イベントを毎年実施し、子どもたちの職業観を広げていくことをサポートしています。

2022年度は、「首都高開通60年」や「知られざる大橋ジャンクションの姿を解明」をテーマに、首都高の開通からの歴史を学ぶ授業や、大橋ジャンクションの見学会を実施しました。バイク隊の基地やトンネルの換気所など、いつもは見る事ができない首都高の裏側を見学し、社会の仕組みを楽しく学びました。

今後も首都高グループは、首都高の事業を通じて、子どもたちが新たな発見やさらなる学びを得ることで、未来を考える機会を提供していきます。



子ども未来プロジェクトのYouTube動画はこちら

VOICE



目黒区立菅刈小学校
教諭 鈴木 慧凜 さま

本校では、13年前から首都高の大橋ジャンクションで稲作体験をさせていただいています。そのご縁で、首都高のお仕事に関する授業のご提案をいただき、2年前から「首都高子ども未来プロジェクト」に参加しています。首都高の歴史を学ぶ授業では、首都高や山手トンネルの長さなどについて、クイズ形式で楽しく学べました。また、バイク隊のデモ走行では、子どもたちの目の前を走行するパトロールバイクの迫力と、バイク隊の方々の想いに、子どもたちは目をキラキラと輝かせていました。本校と首都高とのご縁をきっかけとして、子どもたちの学びを深める良い体験となりました。

■ しながわ職場歩き

品川区内の中学生が区内の企業で働く社員との対話を通じて「働くこと」を学び、自身の主体性や職業観を養うことを目的とする活動に参加しています。

※2022年度はコロナウイルス感染症の影響による中止後3年ぶりに開催。



しながわ職場歩き

■ しながわ寺子屋

品川区内の企業や商店が中学校を訪問し、働く大人と中学生との対話機会を提供するプログラムに参加しており、中学生の職業観の醸成に寄与しています。



しながわ寺子屋

■ 夏休み親子見学会

日本橋区間地下化事業沿道の地元小学校の親子を対象に、夏休み親子見学会を開催しました(4小学校、104名参加)。2022年度は日本橋区間地下化事業として初めて開催し、屋根のないクルーズ船に乗って日本橋川をめぐりつつ、クイズを交えながら本事業についてわかりやすく解説しました。



夏休み社会科見学ツアー

■ 地元保育園との交流活動

地域貢献の一環として、地元保育園と交流を行っています。施設や現場見学のほか、毎年秋のハロウィンイベントでは、保育園児のパレードを出迎え、地元地域の一員として地域の子どもたちを見守っています。



ハロウィンイベント

待機児童問題解消への協力

当社が管理する9号深川線の管理地において、江東区認可保育所「ナーサリールーム ベリーベア深川冬木」(受け入れ定員数200名)が2017年4月に開園しました。これは待機児童問題対策として江東区より要請を受け、設置協力を行ったものです。

敷地面積約4,500m²は開園当時日本最大級の広さを誇り、立地も駅から徒歩3分、駐輪場も150台以上を備えるなど、働きながら子育てをする世代をサポートする環境づくりに協力しています。



ナーサリールーム ベリーベア深川冬木



VOICE



TCE東京環境工科専門学校
専任講師 横内 秀典 さま

さいたま新都心の高層ビル群が見える「見沼たんぼ首都高ビオトープ」での実習では、「田舎の山の中」というイメージが付きまとう自然が、しっかりと都会にも息づいていることを感じられます。

自然環境保全を行っていく上で重要な、「地域の生きものとその環境を守る」「できる限り外来種は除去する」「他の地域から導入しない」という自然への配慮がここにはあります。

生きものあふれるこのビオトープが、これから世界の自然環境保全の新たなモデルになっていくことを期待しています。



社会のために

地域共生への取り組み

当社は、地域社会と共生し地域の皆さまに愛される首都高を目指すべく、様々な取り組みを行っています。

清掃活動

■ 首都高お掃除隊

首都高の高架下や社屋等の周辺の清掃活動を首都高グループ一体となって行っています。



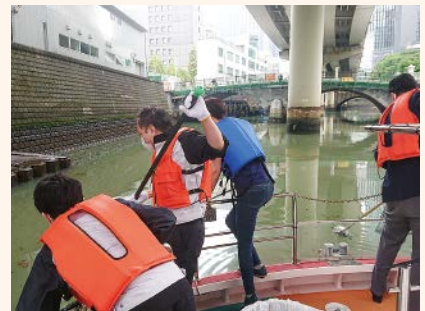
■ 地域の一斉清掃への参加

中央区や江東区など自治体が主催する一斉清掃活動にも参加し、美しい街づくりに貢献しています。



■ 日本橋川清掃活動

地域の団体である名橋「日本橋」保存会らが主催している日本橋川の清掃活動に参加し、川の浄化、清掃に貢献しています。



美化活動

■ 中央通り「はな街道」フラワーサポートプログラム

フラワーサポーターとして、日本橋・中央通りの景観保全や新たな賑わい創出として花壇に花を咲かせる活動を支援するとともに、花壇や中央通り周辺の清掃活動にも参加しています。



■ 大黒PA園芸活動

春と秋の年2回、地域の学生と共同で大黒PA内の花壇に季節を彩る花を植えています。



支援活動

■ ノーマライゼーション首都高

障がい者支援団体と連携し、高架下管理地における除草作業の就労支援を行っています。



■ フードバンク活動への支援

災害用備蓄食料の入れ替えに当たり、賞味期限内の保存水をフードバンクに寄贈しました。



情報発信

首都高沿線地域との共創に向け、様々な媒体を利用した情報発信を行っています。

Webページ

■「首都高で行こう!」特設サイト

首都高沿線地域の魅力を発信するとともに、旬なドライブ情報をお届けしています。首都高メールマガジンや首都高公式Facebookと連動し、グルメ・イベントの情報、クーポンやプレゼントの情報なども発信しています。



■ 首都高NEWS

当社が取り組む事業の紹介に加えて、ドライブをテーマとした音楽の紹介、首都高をテーマにしたコラムの紹介など、首都高にまつわる幅広い情報をお届けしています。



ドライブ情報誌

■「首都高るるぶ」

首都高のPAや関東近郊の道の駅などで、ドライブ情報誌「首都高るるぶ」を無料で配布しているほか、スマホなどで閲覧できる電子BOOKの掲載もしています。首都圏近郊の魅力発信に向けた特集や、首都高を利用した観光案内、首都高に関する豆知識など、様々な情報を提供しています。



ラジオ放送

■ TOKYO FM「THE TRAD」内、「首都高 presents おでかけTRAD」

TOKYO FMで毎週月曜日に放送中のラジオ番組「THE TRAD」内の「首都高 presents おでかけTRAD」のコーナーにおいて、首都高を利用したドライブ情報を発信しています。



メルマガ 会員募集中

より多くの皆さまに、首都高沿線地域の魅力を発信するため、メルマガ会員を募集しています。登録方法等の詳細はこちら。



TOPICS

神奈川局「首都高MMパーク」

2021年6月にオープンした「首都高MMパーク」は首都高の歴史や事業を楽しみながら学ぶことができるミュージアムです。夏休みには近隣施設と協力し、みなとみらい21地区の各ミュージアム施設を巡るデジタルスタンプラリーを開催し、自由研究に訪れるたくさんのお子様たちでにぎわいました。また、ハロウィンやクリスマスには街と一体となり飾りつけを行うなど、地域の皆さまや観光に訪れるお客さまにも親しまれる空間となっております。



- 開館時間：10時～16時30分
- 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌営業日）、年末年始等

特集

お客さまのために

社会のために

環境のために

株主・投資家の皆さまのために

取引先の皆さまのために

社員のために